

ケヤキ *Zelkova serrata* (ニレ科)



撮影: 今井 建樹

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

冬に葉をおとす落葉の高木で、高さ50m、太さ2.7mになります。葉は片側に2枚ずつ交互に並びます。卵形で、先は長く伸びて尖ります。葉の縁には大きな鋸歯(ギザギザ)があります。

Ⅰ 生えている場所

本州、四国、九州の温暖地のよく肥えたところや溪流沿いに生えています。

Ⅰ 花のようす

花の咲く時期は4月です。花は新葉とともに開き、雄花と雌花は同じ木につきます。

参 考

溪流沿いに広く生育する植物です。

木材は木目が美しく、どっしりとして厚みがあり曲がったりしないので、重要な建築・器具材で、特に社寺の建築に多く用いられています。また、木の姿が優雅であるので好んで植えられています。

ミヤマイラクサ *Laportea macrostachya* (イラクサ科)



撮影: 今井 建樹

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

高さが1メートルにも達する大きな草で、茎は、直立して堅いトゲに覆われていて触るととても痛いです。葉は、互いにはえ広い卵形で10~25センチ、先はとがり、葉の縁には大きなギザギザがあります。葉にも、堅いトゲがあり、一度さわると皮膚に残り、いつまでもチクチクして痛いです。

Ⅰ 生えている場所

日本全国の山地などに分布し、比較的うす暗いところに生えています。

Ⅰ 花のようす

冬は地下茎などで休眠し、翌年も花をつける多年草です。雌雄異株で、花は6月~7月に咲きます。

参 考

イラクサの茎葉に細かい刺があり、この刺にヒスタミンを含むため、指でさわると、いつまでも痛くて痒いです。漢方薬として用いられるほか、春の山菜としてアイコと呼ばれ、若葉を茹でて、おひたしやあえものにして食べます。

ヤマトリカブト *Aconitum japonicum* (キンポウゲ科)



撮影: 今井 建樹

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

茎は高さ60～200cmで、林の縁では斜め上にのび、草原では直立します。葉は3～5か所で深く裂けます。

Ⅰ 生えている場所

本州(中部地方～東北地方)の多くは林の縁、または林の中に生えています。

Ⅰ 花のようす

花の咲く時期は9～11月です。花は上から下へ順に咲きます。

参 考

草全体に毒があり、食べると危険です。同じ仲間のニリンソウと間違えて食べないように注意する。名前のトリカブトは雅楽を奏する人の冠のことです。

バイカモ *Ranunculus nipponicus* var. *major* (キンポウゲ科)



現地撮影

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

茎は長さ1～2mにもなり、節から白い根を出します。葉は水中の葉のみで、長さ2～7cmです。

Ⅰ 生えている場所

北海道と本州の浅くてきれいな流水中に生えています。

Ⅰ 花のようす

花の咲く時期は6～8月です。葉の腋から茎を水上に伸ばし直径 1.5～2cm の白花を開きます。

参 考

「白馬村の貴重な動植物—白馬村版レッドデータブック—」等で希少種として指定されています。

名前のバイカモは、花がウメの花(梅花)に似ていることから名付けられました。

ウスバサイシン *Asiasarum sieboldii* (ウマノスズクサ科)



現地撮影

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

茎は地をはい、先に柄のある葉を2個だします。葉は長さ5～8cmのハート形で、先は尖り、質は薄い。両面の脈の上に毛があります。

Ⅰ 生えている場所

本州から九州北部の山地の林の下の湿ったところに生えています。

Ⅰ 花のようす

花の咲く時期は3～4月です。葉の間から短い柄をだし、直径約 1.5cm の淡い褐色の花を1個つけます。

参 考

「白馬村の貴重な動植物—白馬村版レッドデータブック—」等で希少種として指定されています。

アゲハチョウ類のヒメギフチョウの幼虫の食草です。

名前のウスバは、葉が薄いことから名付けられました。

ミヤマハタザオ *Arabis lyrata* var. *kamtschatica* (アブラナ科)



現地撮影

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

茎は基部から上部まで枝をはり、まばらに毛があつて、高さは10～40cmです。根の近くの葉には短い柄があり、細長く、深く裂けます。茎の葉は線形で、鋸歯(ギザギザ)はほとんどありません。

Ⅰ 生えている場所

北海道、本州、四国(剣山)の山地の砂礫地に生えています。

Ⅰ 花のようす

花の咲く時期は5～8月です。花びらは白色か淡い紅色です。

参 考

「国立、国定公園特別地域内指定植物図鑑—中部(山岳編)—」の中部山岳国立公園で希少種として指定されています。

シロチョウ類のクロマツマキチョウの幼虫の食草です。

ヒメウツギ *Deutzia gracilis* (ユキ/シタ科)



撮影: 今井 建樹

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

高さ15mくらいになる落葉低木です。葉は細長く、先は尖り、縁には細かい鋸歯（ギザギザ）があります。葉の表面には星形の毛が散らばっています。

Ⅰ 生えている場所

本州（関東以西）、四国、九州の温帯から暖帯の河岸の岩上などの日当たりのよいところに生え、石灰岩地や蛇紋岩地にも生えています。

Ⅰ 花のようす

花の咲く時期は5～6月です。花は今年の枝の先に集まってつきます。

参 考

「新潟県の絶滅のおそれのある野生生物」で絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

タマアジサイ *Hydrangea involucrata* (ユキ/シタ科)



撮影: 今井 建樹

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

高さ2mに達する落葉低木です。葉の両面には硬い毛が生え、柄があり、楕円形で、先は尖り、縁に細かい鋸歯（ギザギザ）があります。

Ⅰ 生えている場所

本州（福島県～岐阜県）の主として太平洋側の山地の沢沿いのよく肥えたところに生えています。

Ⅰ 花のようす

花の咲く時期は7～9月です。花は集まって枝先につきます。花びらは、つぼみの時は紫色、のちに淡い紫白色になります。

参 考

「新潟県の絶滅のおそれのある野生生物」で絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。名前のタマは、花が咲くまでつぼみが球形であることによります。